

港区の将来を一緒に考えよう！
～2040年代の港区を思い描く～

MINATOビジョンの策定に向けた ガイドブック

たたき台

目次

- | | |
|--------------------------------|------|
| 1. 港区が紡いだ軌跡 ～港区のこれまでの振り返る～ | P.2 |
| <hr/> | |
| 2. 港区の現在地 ～見て感じる港区の今～ | P.6 |
| <hr/> | |
| 3. 港区の未来へのヒント ～2040年代に向けた未来予測～ | P.20 |
| <hr/> | |
| 4. 私たちが描く2040年代の港区 ～未来へのメッセージ～ | P.30 |
| <hr/> | |

1. 港区が紡いだ軌跡

～港区のこれまでの振り返る～

「やすらぎある世界都心・MINATO」を目指して

➤ 現行の港区基本構想が策定された2002年以降、六本木ヒルズや東京ミッドタウン等をはじめとする新たな街づくりが進みました。
➤ 港区では、総合支所の設置や都内初の家庭相談センターの開設、みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の開始など、区民に寄り添いながら様々な施策を展開してきました。

2002 2005 2010 2015 2020

- 2002年**
 - 港区基本構想（第3次）策定
- 2003年**
 - 全国に先駆け「港区介護保険白書」を策定し国に提言
 - 六本木ヒルズオープン
 - 東海道新幹線品川駅開業
 - みなとたばこルール開始
- 2004年**
 - みなとタウンフォーラム初開催
 - コミュニティバス「ちいばす」運行開始
- 2005年**
 - 京都議定書発効
 - お台場干潟再生プロジェクト開始
- 2006年**
 - 総合支所制度の開始

コミュニティバス「ちいばす」



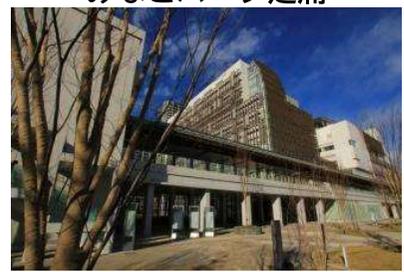
- 2007年**
 - 総合支所に地域特性を生かした独自事業を実施するための予算を配分
 - 東京ミッドタウン開業
 - 青色回転灯パトロール開始
 - 全小・中学校で教育区校としての国際人育成教育開始
- 2008年**
 - 児童扶養手当を港区独自に父子家庭に支給拡大
 - 区内全域で資源プラスチック回収開始
 - リーマンショック影響への支援策（緊急支援融資の信用保証料全額補助等）実施
- 2009年**
 - 都内初、家庭相談センター開設
 - 港区景観条例施行、景観行政団体となる
 - みなと森と水サミット開催

みなと森と水サミット



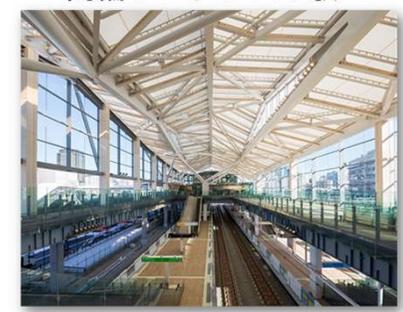
- 2011年**
 - 東日本大震災発生
 - 港区政策創造研究所設置
 - ひとり暮らし高齢者等見守り推進事業開始
 - みなとモデル二酸化炭素固定認証制度開始
- 2012年**
 - 東町小学校で国際学級の本格実施
- 2013年**
 - 港区子ども・子育て会議を設置
 - 港区観光ボランティアガイド活動開始
- 2014年**
 - 虎ノ門ヒルズ完成
- 2015年**
 - 23区初、認可保育園等に通う第二子以降の保育料無料
 - みなとパーク芝浦に災害対策本部代替拠点整備
 - 港区国際防災ボランティア募集開始

みなとパーク芝浦



- 2016年**
 - 港区まち・ひと・しごと創生総合戦略策定
 - 燃料電池自動車（FCV）導入
 - 港区文化プログラム連携事業実施
- 2019年**
 - 待機児童ゼロを達成
 - 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）導入
- 2020年**
 - 新型コロナウイルス感染症拡大
 - コロナ禍での高齢者の買い物代行
 - 区内初、医療的ケア児・障害児の集団保育も行う元麻布保育園開園
 - 高輪ゲートウェイ駅暫定開業
 - 虎ノ門ヒルズ駅開業
 - 港区民間協創制度を創設

高輪ゲートウェイ駅



港区の近年のトピックス

- 2020年代前半は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、区民生活や地域経済に極めて深刻な影響が生じましたが、港区はアフターコロナに向けて区政を力強く推進してきました。
- コロナ禍を経た後もまちは発展を続け、港区は社会経済情勢に的確に対応しながら各分野で先駆的に取組を進めてきました。

2021

- 2021年
- ・東京2020大会開催



- ・都内初、子どもの安全を守るキッズ・ゾーンを設置



- ・区独自の出産費用助成金の算出上限額拡大（73万円に）
- ・障害者のための超短時間就労（週20時間未満）を促進

2022

- 2022年
- ・福祉総合窓口を設置



- ・産業振興センター開設



2023

- 2023年
- ・麻布台ヒルズ開業



- ・携帯トイレを全世帯に世帯人数分、無償で配付



- ・東京都による首都直下地震の被害想定を踏まえ、区内の被害想定を調査・分析

2024

- 2024年
- ・全国初、「美少女戦士セーラームーン」デザインマンホールを設置



- ・区有施設をクーリングシェルターに指定



- ・「みなと子ども会議」初開催

2025

- 2025年
- ・TAKANAWA GATEWAY CITY まちびらき

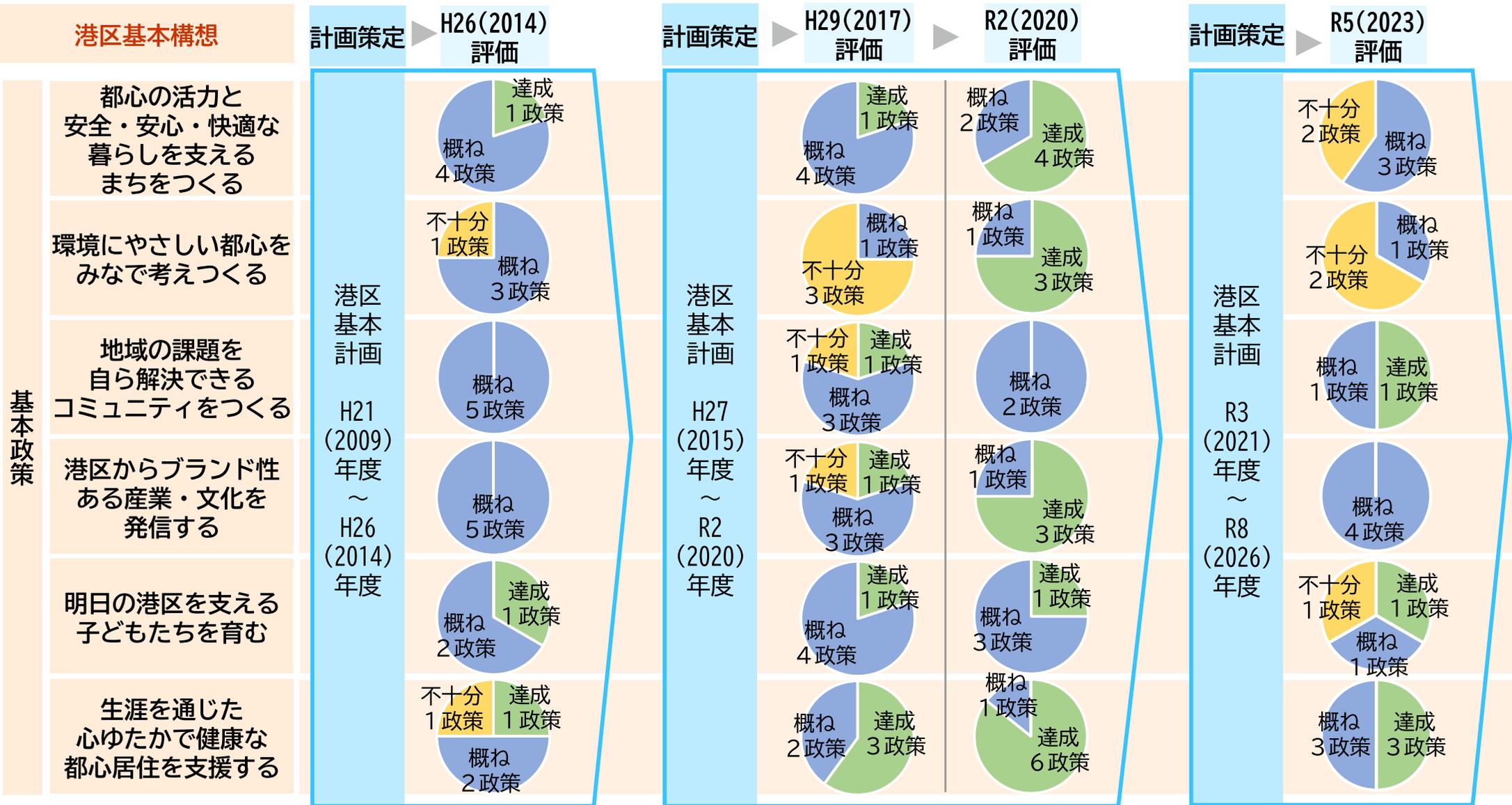


- ・パリ市15区と国際友好都市提携を締結



政策評価から見る港区の政策の達成度

- 港区では、港区基本計画に掲げる各政策の達成度を3年ごとに評価し、改善を重ねながら区政運営を推進してきました。
- 平成26(2014)年度から評価を開始し、これまで4回実施していますが、直近の評価では達成状況が不十分な政策がありました。
- 社会状況の変化に伴って新たな社会課題が生じることも多く、解決に向けた不断の取組が求められています。



注：評価は「達成」「概ね」「不十分」の三段階で表示

2. 港区の現在地

～見て感じる港区の今～

港区ってどんなまち？ ~多くの人が集い地域の個性が際立つ~

● 基本情報

人口	267,780人 23区で17番目に多い
面積	20.36km ² 23区で12番目に大きい

● 人口構成

年齢別構成

年少人口



35,982人
13.4%

生産年齢人口



185,852人
69.4%

老年人口



45,946人
17.2%

外国人人口



外国人人口：22,614人
23区で14番目に多い

外国人人口割合：8.4%
23区で6番目に多い

昼夜間人口比率



昼間人口：
972,673人

夜間人口：
260,486人

昼夜間人口比率：373.4
23区で3番目に大きい
※1位千代田区、2位中央区

注1：昼夜間人口比率以外の人口は令和7年1月1日時点のデータ

注2：昼夜間人口比率は令和2年10月1日時点のデータ

出典：東京都「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」、総務省「国勢調査」を基に作成

● 5地区別の人口と特徴

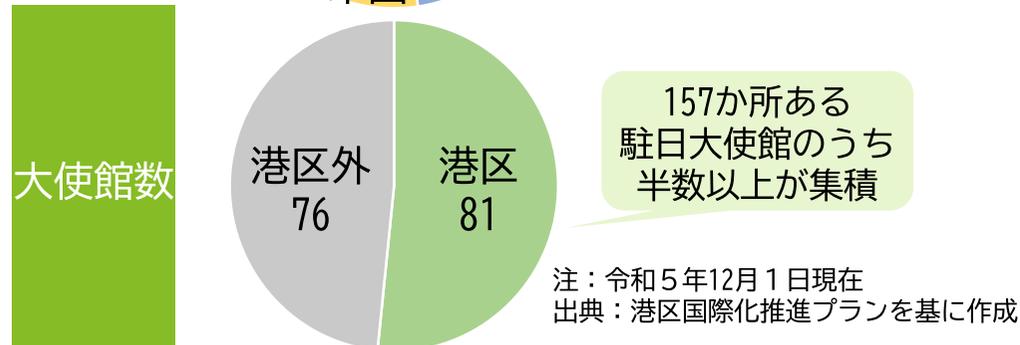
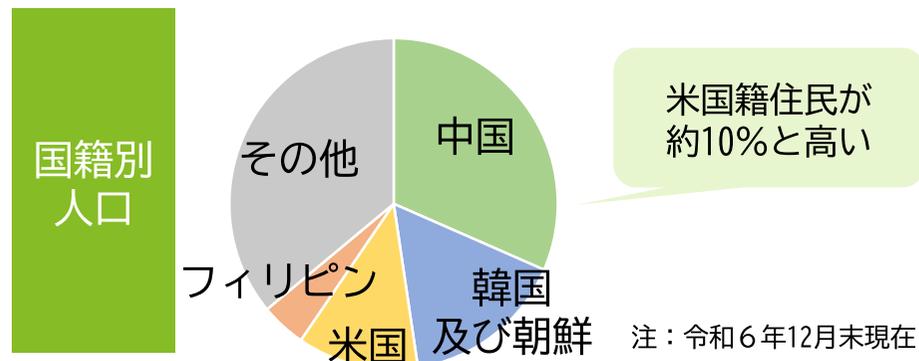


注：人口はすべて令和7年1月1日時点のデータ

港区ってどんなまち？ ～グローバルで豊かな国際性～

- ▶ 港区の外国人人口は増加傾向にあります。国籍別では中国籍住民が多く、次いで韓国及び朝鮮籍、米国籍の住民が多い状況です。
- ▶ 港区には駐日大使館の半数以上が集積しており、大使館とも積極的に連携しながら取組を進めています。

● 関連データ



● 主な取組

港区国際防災ボランティア



- ▶ 災害時にも外国人が安心して過ごせるよう、国際防災ボランティアが活動しています。

災害時想定訓練の様子

Minato Blossom Festa



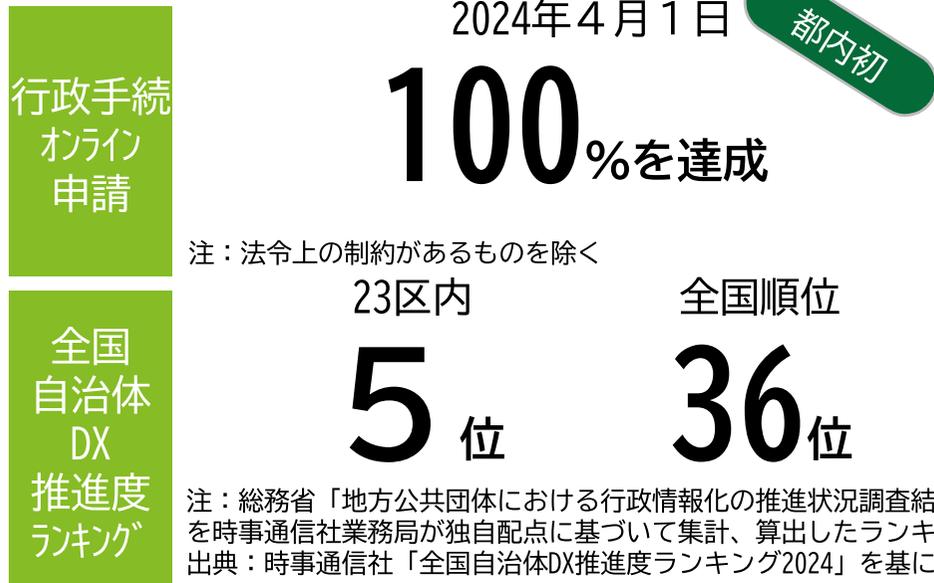
- ▶ 区内に立地する大使館等と連携し、世界の文化に触れることができるお祭りを開催しています。

開催の様子

港区ってどんなまち？ ~テクノロジーの進化が暮らしを便利に~

- ▶ 港区は、都内自治体で初めて行政手続オンライン申請導入率100%を達成するなど、行政サービスのDXが進んでいます。
- ▶ 港区では、竹芝エリアのスマートシティの取組が「スマート東京（東京版Society5.0）の実現に向けた先行実施エリアプロジェクト」に選定されています。

● 関連データ



● 主な取組

港区公式LINEにおける、生成AIを活用したチャットボット



▶ チャット形式で投稿された質問に対し、生成AIが港区HP上の情報から自動で回答します。

生成AIによる回答

● 竹芝スマートシティについて



- ▶ 東京ポートシティ竹芝を核に、まちのあらゆるデータをスマートシティプラットフォームで一元管理し、様々な課題解決に活用する取組が進められています。
- ▶ 社会課題解決と経済的発展の両立を目指しています。

スマートシティの概念図

港区ってどんなまち？ ～多様性を享受する価値観と人々の暮らし～

- ▶ 性的マイノリティの人権問題など、多様な価値観を認めることの意識が高まっています。
- ▶ テレワークの導入等を背景に、地方移住へ関心を持つ23区在住者が増加しています。

● 関連データ

性自認に関する人権への関心



注：都内在住者を対象とした調査
出典：東京都総務局「人権に関する都民の意識調査報告書」を基に作成

テレワーク導入状況



注：調査対象は東京都内に所在する常用雇用者規模30人以上の企業10,000社を無作為に抽出
出典：東京都産業労働局「令和6年度多様な働き方に関する実態調査（テレワーク）報告書」を基に作成

23区在住者の地方移住への関心



注：23区在住者を対象とした調査
出典：内閣府「男女共同参画白書 令和3年版」「第6回 新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」を基に作成

● 主な取組

みなとマリージュ制度

第1号様式（第2条の2関係） 発行番号

みなとマリージュカード

氏名： 氏名：
生年月日： 生年月日：

上記の二人が、港区男女平等参画条例第9条の2の規定に基づくみなとマリージュ制度に係るパートナー契約書を取り交わしたことを確認しました。

年 月 日
港 区 長

- ▶ 性的マイノリティのパートナー同士が共同生活に関する契約を結んだことを区として確認する制度。

みなとマリージュカード

港区連携自治体ワーケーション事業

全国初



- ▶ 区内事業者と連携自治体のビジネスマッチングと継続的な連携・交流を図ることを目的に、全国で初となる「自治体連携によるワーケーション」を実施しました。

令和5年度実施の様子

港区の強みと弱み ~地域幸福度 (Well-Being) 指標から紐解く特色~

地域幸福度 (Well-Being) 指標とは

- ▶ 市民の「暮らしやすさ」と「幸福感 (Well-Being)」を数値化・可視化する指標でデジタル庁が公表しています。
- ▶ 「生活環境」「地域の人間関係」「自分らしい生き方」の3分野・24因子について、全国の自治体間で偏差値化されており、他の自治体と比較しながら取組の方向性等の検討に役立てることができます。

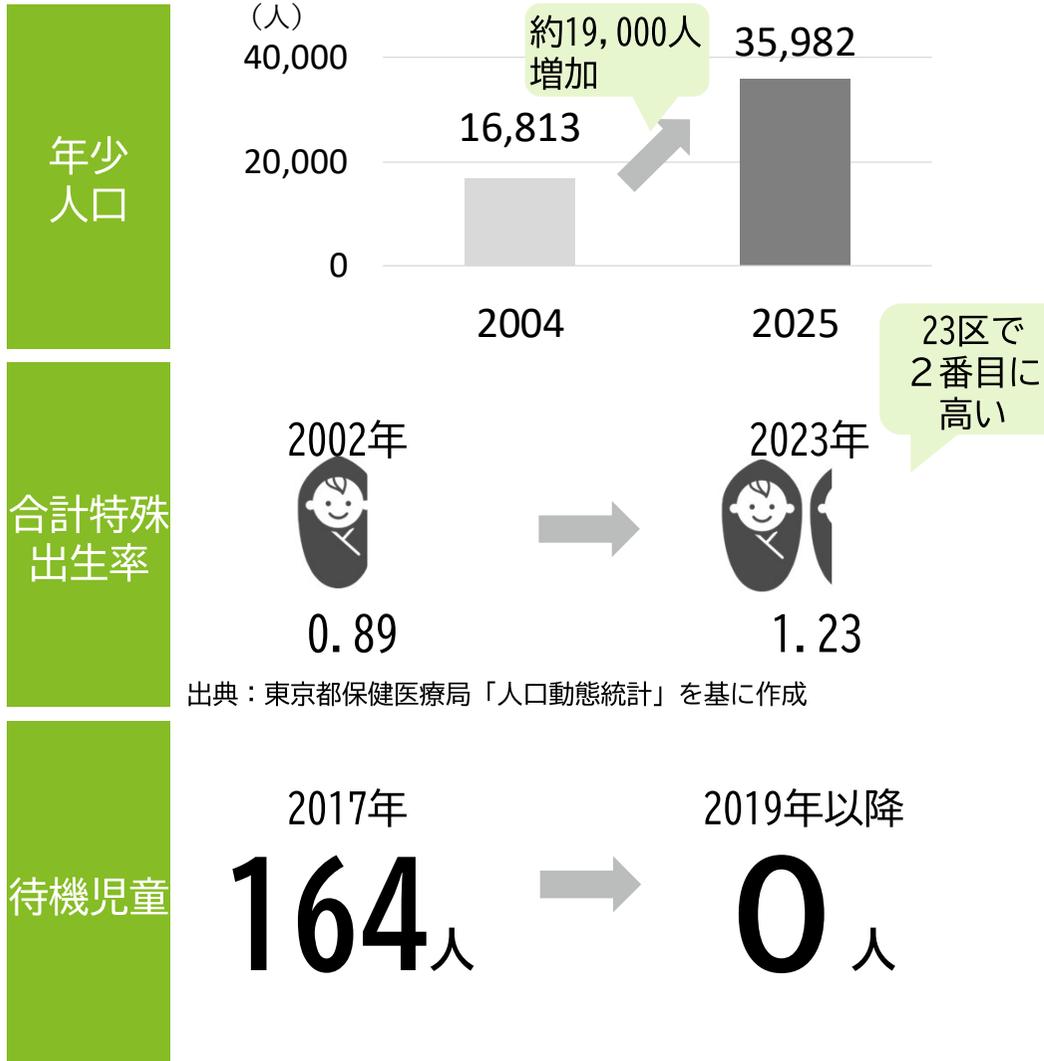
● 地域幸福度 (Well-Being) 指標による港区の強み・弱み
 【近隣区 (中央区、新宿区、品川区、目黒区、渋谷区) との比較】 ※特徴的なものを抜粋して掲載しています。

	強み・特徴		弱み・課題	
	区民の感じ方	データからみる強み	区民の感じ方	データからみる弱み
ひと	子育て支援が手厚い	待機児童数がゼロ	—	高卒進路未内定者率 が大きい
	介護・福祉施設のサービスが受けやすい	可住地面積当たりの各種学校数が大きい		
まち	歩道や信号が整備されていて安心	環境施策が多い	騒音に悩まされている	人口当たり刑法犯認知件数が多い
	防災対策がしっかりしている	大学発ベンチャー企業数が大きい	身近に自然を感じない	人口当たり二酸化炭素排出量 が大きい

【子ども・子育て】～年少人口は中長期的には増加傾向を維持～

- ▶ 港区は年少人口が増加しており、中長期的には増加傾向を維持すると推計されています。
- ▶ 合計特殊出生率は中央区に次いで23区で2番目に大きく、全国の水準（令和5年度：1.20）も上回っています。
- ▶ 港区は待機児童ゼロを2019年に達成して以降、毎年度継続しています。

● 関連データ



● 近年の主な取組内容

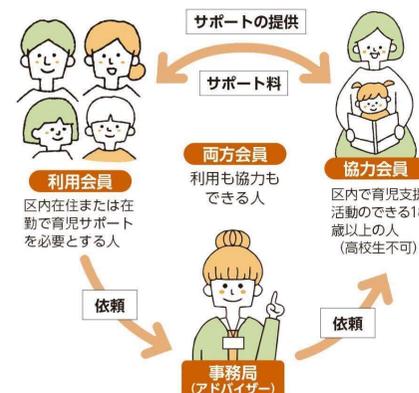
「子どもの最善の利益」を第一に考えた仕組みづくり



- ▶ 子どもや若者の意見を区政に反映するため、18歳以下人たちが参加する「みなと子ども会議」を開催しています。

みなと子ども会議の様子

地域ぐるみで子育てをサポートできる仕組みづくり



- ▶ 子育ての手助けが必要な人と、手助けできる人を結ぶ「育児サポート子むすび」を行っています。

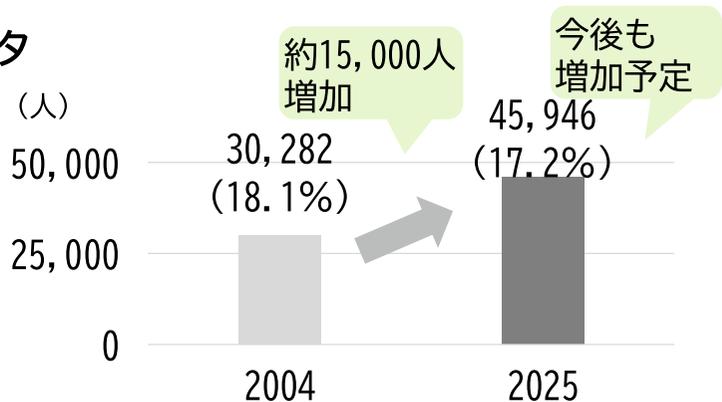
育児サポート子むすびの仕組み

【福祉・保健】 ~老年人口は今後も増加傾向、障害者手帳交付件数は増加~

- 港区は老年人口割合は減少していますが、老年人口は増加しており、今後も増加すると推計されています。
- 障害者手帳の交付件数は増加し、特に精神障害者保健福祉手帳の交付件数は、2008年度から2023年度で約3.6倍に増加しています。
- 港区民の健康寿命は2015年以降延伸の傾向がみられましたが、男性は2021年以降、女性は2022年にやや低下傾向にあります。

● 関連データ

老年人口
(割合)



障害者手帳
交付状況

	2008年	2023年
身体障害者手帳	6,286件	8,565件
愛の手帳	673件	1,210件
精神障害者保健福祉手帳	334件	1,197件

注：身体障害者手帳は交付台帳登録状況、愛の手帳は交付状況、精神障害者保健福祉手帳は年度中に新規または更新で交付した件数
出典：東京都福祉局「福祉・衛生行政統計」を基に作成

65歳
健康寿命

	2012年	2022年
男性	81.09歳	81.69歳
女性	82.43歳	82.58歳

出典：東京都ホームページ「とうきょう健康ステーション」を基に作成

● 近年の主な取組内容

重層的支援体制整備事業



- 区民が抱える複雑化・複合化した福祉等に関する困りごとについて、関係機関が連携を強化して支援を行います。

福祉総合窓口のマーク

障害者支援の充実



- 大人の発達障害に関する相談窓口や、地域で安心して自分らしく過ごせる居場所を提供しています。

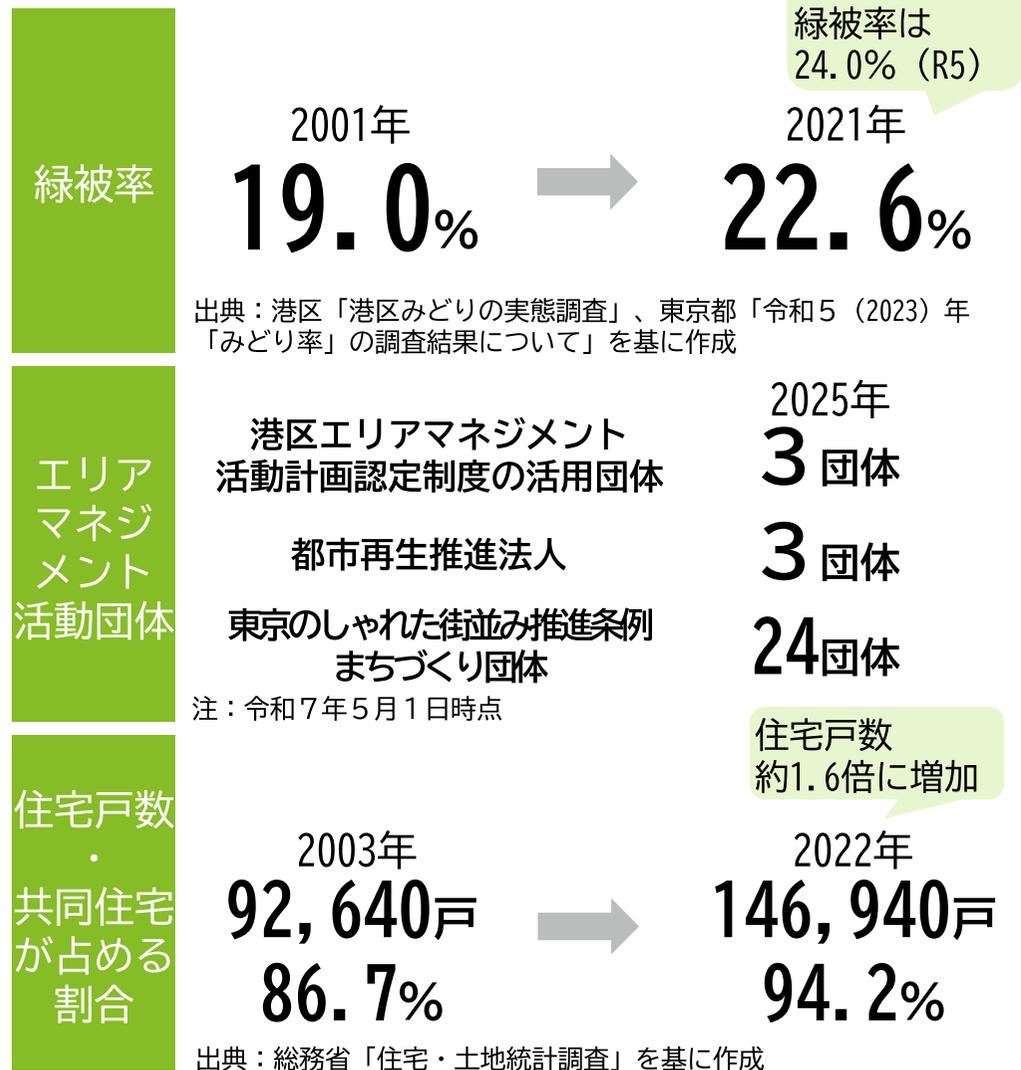


発達障害者支援室の様子

【街づくり】～緑被率は向上、エリアマネジメント活動が活発化～

- 緑被率や公園の緑地面積が増加していますが、特別区部全体の緑被率の水準を下回っています。
- エリアマネジメント活動や歩きやすい歩行空間の整備が進むなど、区民にとって住みやすいまちづくりが進められています。
- 住宅戸数は増加し、そのうち共同住宅が占める割合も増加しています。

● 関連データ



特別区部の緑被率は
24.0% (R5)

● 近年の主な取組内容

みどりの街づくり賞



- 優れた緑化計画を行い、その緑地を維持している区民や事業者の緑化施設を表彰しています。

受賞施設 (oak 港南品川)

エリアマネジメントの推進



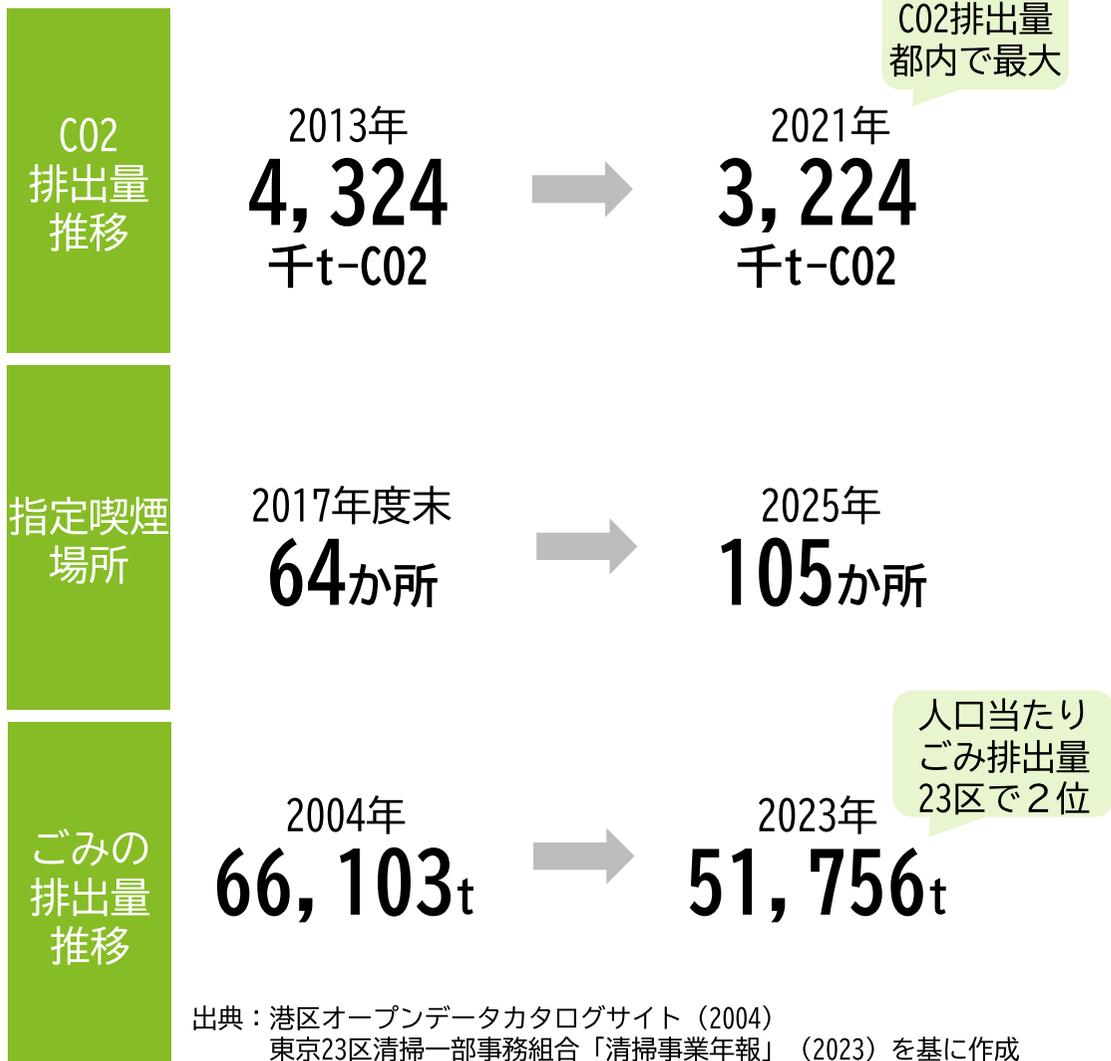
- 多様な主体によるエリアマネジメント団体によって、地域の魅力・価値を向上させる様々な活動が行われています。

赤坂インターシティエリアマネジメントの様子

【環境・リサイクル】 ~人口当たりCO2排出量やごみ排出量は23区の中でも多い~

- CO2排出量は2013年から減少傾向にありますが、都内で最大です。
- たばこを吸う人も吸わない人もお互いに配慮しあえる快適なまちづくりを目指し、指定喫煙場所の数は増加しています。
- ごみの排出量は減少していますが、人口当たり排出量は23区全体で見ると2番目に大きくなっています。

● 関連データ



● 近年の主な取組内容

再エネ普及促進プロジェクト



- 使用電力を再エネ100%電力に切り替えた区民、事業者に区内共通商品券を交付しています。

港区再エネ普及プロジェクトロゴマーク

密閉型指定喫煙場所の整備



- より分煙効果が高い喫煙場所として、屋外密閉型喫煙場所・屋内喫煙場所の整備を積極的に推進しています。

一の橋公園内指定喫煙場所

【防災・危機管理】～迫る首都直下地震、身近に起こる犯罪への対策～

- ▶ 首都直下地震では甚大な被害が出るのが想定され、帰宅困難者数は千代田区に次いで23区で2番目に多いと想定されます。
- ▶ 住宅の耐震化は進んでおり、区立住宅等の耐震化率は100%を達成しました。
- ▶ 刑法犯認知件数は減少傾向にありましたが、2022年以降増加しています。

● 関連データ

首都直下地震の被害想定

最大震度 **7** 死者数 **127人** 帰宅困難者 **53万人以上**

23区で
2番目

注：都心南部直下地震 冬・夕方、風速8m/s
出典：東京都「首都直下地震等による東京の被害想定」（令和4年5月25日公表）を基に作成

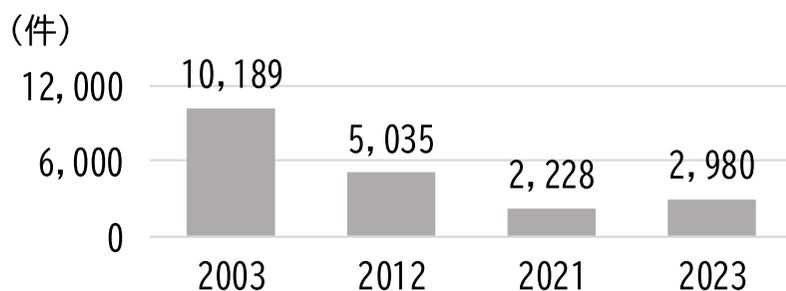
耐震化率の推移

2008年 2024年

80.1%(住宅) 93.0%(住宅)

85.5%(区立住宅等) 100.0%(区立住宅等)

刑法犯認知件数の推移



出典：港区再犯防止推進計画を基に作成

● 近年の主な取組内容

帰宅困難者対策の強化



- ▶ 例えば、駅周辺滞留者対策推進協議会や防災関係機関・事業者との相互連携の仕組みを構築しています。

令和4年度の訓練の様子

共同住宅の震災対策



- ▶ 例えば、高層住宅特有の被害に対応するため、高層住宅に防災資器材を助成しています。

パンフレット
「高層住宅に防災資器材を助成します」

【産業・地域振興】 ~区内産業の付加価値額*は23区トップ~

*企業の生産活動によって新たに生み出された価値

- ▶ 区内付加価値額・事業所数・従業者数は増加傾向にあり、付加価値額は23区で最大、事業所数・従業者数は千代田区に次いで2位となっています。
- ▶ 区内宿泊者数はコロナ禍で減少したものの、その後は増加傾向にあります。
- ▶ 町会・自治会加入率は減少傾向が続いています。

● 関連データ

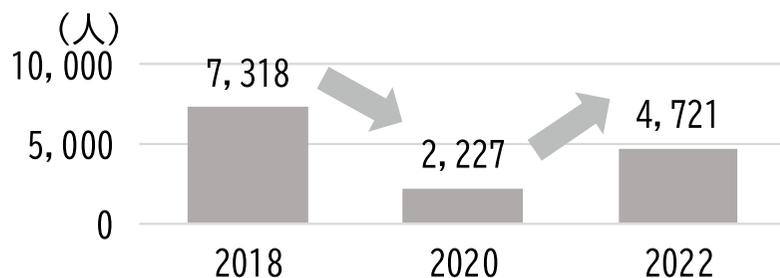
付加価値額
・
事業所数
・
従業者数

	2012年	2021年
付加価値額	18兆円	65兆円
事業所数	37,209事業所	41,049事業所
従業者数	952千人	1,118千人

注：付加価値額は企業単位、事業所数・従業者数は事業所単位
出典：経済産業省「経済センサス活動調査」を基に作成

付加価値額
23区で最大

区内
宿泊者数



町会・
自治会
加入率

2006年 **32.5%** → 2023年 **24.8%**

● 近年の主な取組内容

オープンイノベーションの促進



- ▶ 港区オープンイノベーションフェアを開催し、ビジネスチャンス創出を促進しています。

港区オープンイノベーションフェアの様子

商店街におけるキャッシュレス化の普及



- ▶ 港区商店街連合会が販売する区内共通商品券をアプリ化しました。

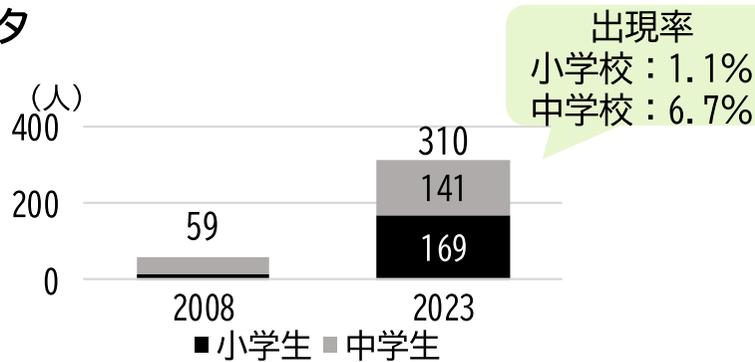
「港区電子スマイル商品券」アプリ画面

【教育】～子ども一人ひとりの多様性の尊重、スポーツ・生涯学習の機会づくり～

- 不登校児童・生徒数は増加傾向にあり、2023年度の不登校児童・生徒数は、2008年度比で約5.3倍に増加しました。
- スポーツセンターの利用者数は、2014年にリニューアルオープンしたこともあり、大きく増加しています。
- 生涯学習センターの利用者数は2012年度がピークで、その後はコロナ禍まで10万人前後で推移しています。

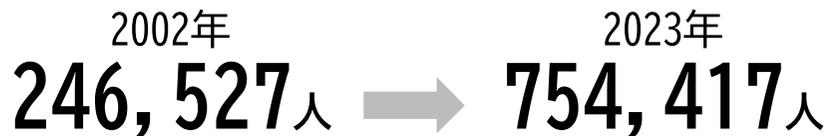
● 関連データ

不登校児童・生徒数

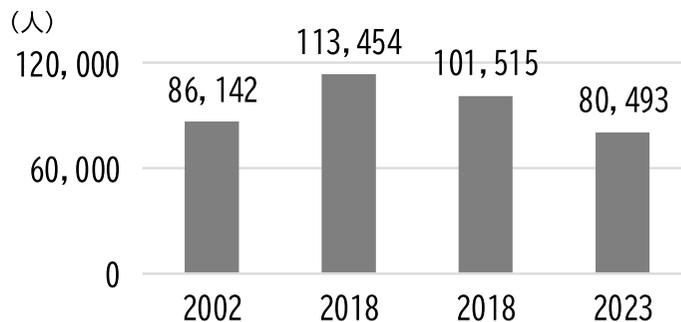


出典：港区「港区におけるいじめ・不登校調査の結果について」を基に作成

スポーツセンター利用者数



生涯学習センター利用者数



● 近年の主な取組内容

不登校施策の充実

学校に行けなくて困っている児童生徒の保護者の皆様へ
お子様、保護者の方の悩みについて一緒に考えサポートします！

みんなとMeet ハナミズキ
学びの多様性を目指して

港区立教育センター常駐の心理士による相談会を開催します。
児童生徒の個々の状況に応じた支援策を紹介し、保護者の悩みや不安に寄り添った適切な支援をしていきます。お気軽にご相談ください。

日時	毎月定例会 13:00-17:00 ※定例会以外も開催予定です。	内容	個別相談(予約制)
会場	港区立教育センター4階 港区北門3-6-9	時間	25分程度
対象	港区内の小中学校に在籍する 不登校児童生徒の保護者	参加費	無料

申込み・問合せ
お申込みはWEBのみでお受付しております。
裏面記載の各月のQRコード(URL)から、毎月の相談会の1週間前*までにお申し込みください。
*1週間前が祝日の場合は、この限りではないため、詳しくは裏面の申し込み期間をご確認ください。

お子様のお名前・お子様の学校、学年、学級・部活連絡先等をお知らせください

申込みについてご不明点等ある場合は、☎ 03-5422-1545 までご連絡ください

- 不登校児童・生徒の保護者同士が交流する場「みんなとMeet ハナミズキ」を実施しています。

「みんなとMeet ハナミズキ」の案内

生涯学習講座の充実



- 「学びたい人」と「教えたい人」をつなげる生涯学習講座提供事業「まなび屋」において様々な生涯学習講座を提供しています。

生涯学習講座の様子

